交通講話に関するＱ＆Ａ（よくある質問と回答）

Ｑ：　講話を聞けば事故は減少しますか？
Ａ：　話を聞くだけで事故が減少する効果を期待されても、お応えできません。
　交通事故を減らすためには、ドライバーの心理的な変化、安全に対する価値観の向上が必要だと考えています。したがって、即効性のある対策だけで全体的・恒常的に事故を減少させることはできないと考えています。

Ｑ：　交通事故を防ぐ具体的な方法について教えていただけるのでしょうか？
Ａ：　いわゆる「ハウツー」のお話しはいたしません。
　事故を防ぐための方法についてはいろいろ紹介されていますが、それを話に聞くだけで安全運転が実行できるものではありません。それを身に付けて運転行動とするためには、安全運転を行うことについての価値を正しく理解することが不可欠だと考えています。
　そのため、講話のテーマは「交通安全の価値を考える」であり、誰もが知っているはずの安全運転ができないのは何故か、ということからお話ししています。

Ｑ：　講話の時に準備するものはありますか？
Ａ：　資料を置く机、それと会場が広い場合にはマイクの用意をお願いします。
　パワーポイントを使う場合には、パソコン等の用意をお願いします。
　パワーポイントを使わない場合には、ホワイトボードのご用意ください。
　※　パワーポイントの使用は、会場の規模などによって判断しますが、ご希望をお聞かせください。

Ｑ：　講話は１時間以上とのことですが、質問時間を含めて１時間というのは可能ですか。
Ａ：　１時間あれば何とかします。
Ｑ：　理想的な時間はどれくらいなのですか？
Ａ：　もし可能であれば、質疑応答の時間を含めて１時間半いただけると余裕を持ってお話することができますし、質問にもお答えできると思います。
　しかし実際には、まとめて１時間が大半です。

Ｑ：　人数は何人まで可能でしょうか？
Ａ：　10人でも100人でも構いません。
　少人数であれば、ゼミナール形式の質疑応答方式も可能です。

Ｑ：　どんな内容の講話なのでしょうか？
Ａ：　「講話の概要」をご覧いただいて全体のイメージをご理解ください。
　可能であればホームページ（「aakk」で検索！）から「編集雑記（コラム）一覧」をお読みください。その内容に共感いただけるのであれば、興味を持っていいただける講話になると思います。